



学薬のひろば



< 7月号 >

Vol. 031

6月 4日の県学薬総会では各支部長先生にはお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。役員一同本年も気を引き締めて活動に励んでいく所存ですのでよろしくご協力の程お願い致します。また今月7月 2日は支部長会になります、平成18年度の県学薬一斉調査、全国学校保健調査の連絡等ございますのでご出席の程、お願い致します。

さて、5月28日の東建ホールでの第1回学校薬剤師講習会には158名の先生方のご出席をいただきました。県立学校がメインとはいえ県健康学習課の先生方とのお話、環境衛生検査ビデオ等、先生方のご参考にしていただけたかと思えます。活発なご意見等もいただきましたので今後の対応等に生かしていきたいと考えます。

今月は以下に、 第57回 指定都市学校保健協議会と第1回愛知県学校薬剤師講習会の様子を報告させていただきます。

【第57回 指定都市学校保健協議会報告】

「薬剤師の先生がここまでやってるとは、感動しました！」

樋口 光 司

筑波大学大学院助教授の野津有司先生がおっしゃった第一声です。

第57回 指定都市（昨年迄は十四大都市）学校保健協議会が平成18年5月14日（日）に神奈川県川崎市ミューザ川崎シンフォニーホールで開催されました。名古屋市からは30名、学校薬剤師は7名参加しました。

形通りの開会式に続き、記念講演として「こどものころ ～今の社会に生きる悩み～」渡辺久子先生（慶応義塾大学病院小児科外来医長）が話されました。

まず腕白小僧を作らなければ、よい人間は作れない。一人の子を育てるには、一つの村が必要である。まず自分の目を見る、そして子供の目を見る。生き生きとした、ゆとりのある触れ合いがどんなに大切か……。ものすごいスピードで、心に響くフレーズをどんどん話され、あっという間に一時間が過ぎてしまいました。

続いて、東京交響楽団メンバーによる弦楽四重奏団の演奏がありました。「音楽のまち・かわさき」



を象徴するにふさわしい、2年前に作られたすばらしいシンフォニーホールでの音色に一時雑事を忘れることが出来ました。

昼食後、四つの分科会に分かれての課題別協議会が行われました。第一分科会の健康教育で二番手の発表者として、名古屋の山口一丸先生が「薬剤師が話す、くすりのお話」を口頭提言しました。4題の提言後、助言者の野津有司先生がコメントされましたが、山口先生の提言に対して発せられたのが標記の言葉でした。



くすりの正しい使い方や基本的知識を得た上で、タバコ・薬物乱用防止の問題に移行する。そしてセルフエスティーム（自己肯定感・健全な自尊心）を育むお手伝いをする。学校薬剤師が教室へ出向いてのこういう活動に、野津先生は最高級の賛辞を下さいました。名古屋市・愛知県学校薬剤師会の活動はすばらしい評価を得ました。今まで以上に自信を持って進んで行きたいと意を強くした次第です。

学校現場は、薬剤師が学校へ来てくすりのお話をすることを望んでいます。環境衛生に関する検査等も大切な仕事です。が、児童・生徒にくすりの話をすることは、それにも増して重要な仕事になって来ました。学校において、学校薬剤師が必要不可欠な存在として認められ続けるには、この仕事をキチンと行うことだと思います。文部科学省も義務教育において、くすりの授業を取り入れる方向と聞いております。

今回は、全国の主要都市の学校保健関係者（医、歯、薬、校長、養護、教育委員会等）が集まっての協議会であり、その場で発表に意義あるものとして挑みました。すばらしい結果をいただいたことを高く評価し、これからも全会員一丸となって頑張っていきたいと思っています。

【第1回愛知県学校薬剤師講習会報告】

5月28日、東建ホールにて下記内容にて実施された。



講義1 「学校環境衛生について ～ 夏期に向けた留意事項 ～」

講師 健康学習課 主査 大嶋 雄二

平成17年度の県立学校における環境衛生検査結果・不備事項・指導事例等の紹介及び学校における室内空气中化学物質対策マニュアルについての説明

講義2 「薬物乱用防止教育の現状」

講師 健康学習課 主査 三浦 尚樹

薬物乱用防止教育の現状と愛知県教育委員会の取り組みについて紹介された

(2) 学校での学習(学習指導要領での位置付け)

ア 小学校(3時間程度) 6年生で取り扱う。

A 体育(保健領域)「病気の予防」

- ・喫煙、飲酒、薬物は健康を損なう原因となるものであることを扱う。
- ・『薬物については、有機溶剤の心身への影響を中心に扱うものとする。また、覚せい剤等についても触れる。』

B 学級活動

- ・『日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること』の中で取り扱う。

ウ 高等学校(5時間程度) 1年生で取り扱う。

A 科目保健

「現代社会と健康」・「喫煙・飲酒と健康」・「薬物乱用と健康」で取り扱う。

- ・薬物乱用については、疾病との関連、社会への影響などについて総合的に取り扱い、薬物については、麻薬、覚せい剤等を取り扱うものとする。

B ホームルーム活動

- ・『個人及び社会の一員としての在り方生き方、健康や安全に関すること』のなかで取り扱うものとする。
- ・『健康安全・体育的行事』として、取り扱う。

イ 中学校(6時間程度) 3年生で取り扱う。

A 保健体育(保健分野)

「健康な生活と疾病の予防」

- ・喫煙、飲酒、薬物乱用は、健康を損なう原因となること。このような行為は心理状態や人間関係、社会環境が影響するので、適切に対処できるようにさせる。
- ・薬物については、心身への急性影響及び依存性について扱うものとする。また、薬物は、覚せい剤や大麻等を取り扱うものとする。

B 学級活動

- ・『個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること』の中で取り扱う。

(3) 学校保健委員会の議題として取り扱う。

(4) 総合的な学習の時間で取り扱う。

- ・教科の発展として

(5) 文化祭での展示

- ・児童生徒保健委員としての取組
- ・学級での取組

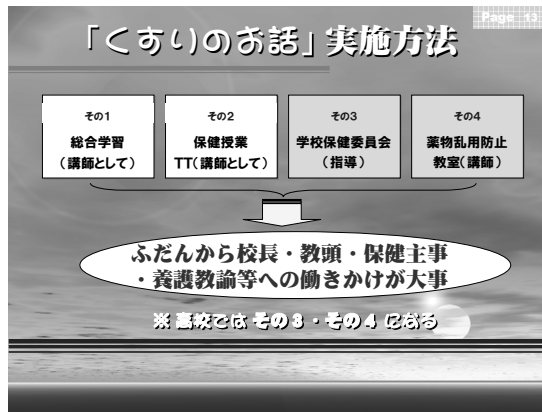
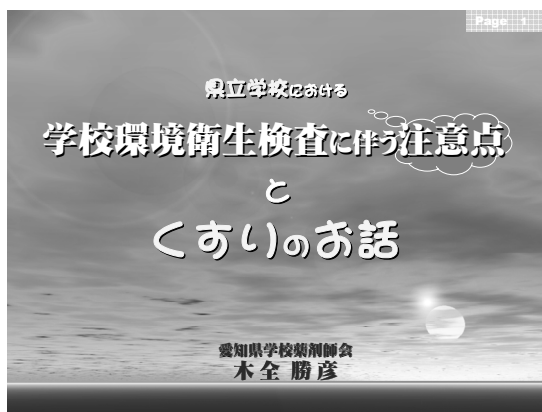
講義 3 「県立高校における環境衛生検査 及び 薬の正しい使い方」

講師 県学薬理事

木全 勝彦

実践・学校環境衛生検査マニュアル<DVD版&VHS版>の紹介。

環境衛生検査に伴う注意点とくすりのお話(高校版)について



◆ 7月・8月予定表

7月 2日(日)	県学薬支部長会	(県薬5F講堂)
7月 9日(日)	健康・学校環境衛生講習会	(秋田県)
8月18日(金)	愛知県学校保健研究大会	(名古屋港湾会館)
10月 8日(日)	日薬学術大会	(福井県)
～9日(月)		
11月 9日(木)	全国学校保健研究大会	(島根県)
～10日(金)	全国学校薬剤師大会	(島根県)
11月16日(木)	環境衛生・薬事衛生研究協議会	(熊本県)
～17日(金)		